

「分子性導体における強磁場利用研究の展望」

共催 科学研究費特定領域研究「新しい環境下における分子性導体の特異な機能の探索」

日時 2006年10月31日(火)－11月2日(水)

場所 仙台市秋保 岩沼屋

プログラム

10月31日(火)

12:30 仙台駅発 西口貸し切りバス乗り場 送迎バス

13:00 秋保 岩沼屋着 レジストレーション

13:30 挨拶

小林典男(東北大金研強磁場超伝導材料研究センター長)

鹿野田一司(東大工)

テクニカルアナウンス(佐々木)

13:45 小林晃人(名大理) 「 α -(BEDT-TTF)₂I₃におけるゼロギャップ半導体相の安定性」

14:15 田嶋尚也(理研) 「有機ゼロギャップ半導体の電気伝導性」

14:45 安藤恒也(東工大理) 「TBD」

15:25 福山秀敏(東京理大) 「Interband effects of magnetic field」

15:40－16:00 休憩

16:00 有馬孝尚(東北大多元研) 「磁場誘起電気分極フロップ」

16:40 山口尚秀(NIMS) 「電荷秩序系有機結晶における非線形伝導と正の巨大磁気抵抗」

17:10 野上由夫(岡山大大理) 「 θ 系 BEDT-TTF 錯体に於ける電荷秩序と X 線」

17:40 休憩

18:30 夕食

20:00－22:00 ナイトセッション(強磁場実験)

大道英二(神戸大理) 「TBD」

田島裕之(東大物性研) 「有機薄膜デバイスの光応答－温度依存性および磁場依存性」

野上由夫(岡山大大理) 「強磁場下高感度 X 線回折装置を目指して」

中澤康浩(阪大理) 「TBD」

11月1日(水)

9:00 萩原政幸(阪大極限) 「スピングャップ量子スピン系の磁場誘起相の物理:

スピン励起及び朝永ラッティンジャー液体」

9:40 茂木 巖(東北大金研) 「磁気科学の最近の動向」

10:20 太田 仁(神戸大フォト) 「パルス磁場を用いたカンチレバーESRによる高感度測定 ESR」

10:50－11:10 休憩

11:10 佐々木孝彦(東北大金研) 「有機超伝導体の渦糸状態」

11:40 鴻池貴子(東大物性研) 「 κ -(BEDT-TTF)₂Cu(NCS)₂における磁気熱不安定性と磁束格子融解」

12:00 昼食

- 13:30 松田祐司(京大理) 「TBD」
- 14:10 宇治進也(NIMS) 「BETS系有機導体の進展」
- 14:50 木村憲彰(東北大極低温) 「空間反転対称性のない重い電子系 CeRhSi₃ の圧力誘起超伝導」
- 15:30—15:50 休憩
- 15:50 石原純夫(東北大理) 「三角格子鉄酸化物における電荷秩序と誘電性
—電荷・スピン・軌道構造とフラストレーション—」
- 16:30 大島勇吾(東北大金研) 「 π -d系有機導体のミリ波・サブミリ波 ESR」
- 16:50 開 康一(学習院大理) 「 λ -(BETS)₂FeCl₄ の Se NMR-補償磁場の観測-」
- 17:10 藤山茂樹(東大工) 「磁場誘起超伝導体 κ -(BETS)₂FeBr₄ における π -d 相互作用の微視的評価」
- 17:30 休憩
- 18:30 夕食
- 20:00—22:00 ナイトセッション(強磁場利用)
- 村田恵三(阪市大理) 「強磁場施設 4ヶ所での実験経験」
- 開「Grenoble」, 宇治「Tallahassee, 物材機構」, 佐々木「東北大金研」
- 11月2日(木)
- 9:00 長田俊人(東大物性研) 「層間伝導のトンネル描像~平行磁場、密度波系」
- 9:40 菅原滋晴(東邦大理) 「層状構造を持つ低次元金属の層間伝導に対する横磁場効果」
- 10:10 近藤隆裕(東大総合文化) 「 β ”型 BEDT-TTF 塩の低温電子構造」
- 10:40—11:00 休憩
- 11:00 花咲徳亮(岡山大理) 「フタロシアニン分子系伝導体の物性」
- 11:40 川本 正(東工大理) 「新規分子からなる有機伝導体の強磁場物性」
- 12:10 高橋利宏(学習院大理) closing
- 12:30 岩沼屋発 送迎バス —仙台駅 (13:00前後)

問い合わせ先

鹿野田一司(東大工) kanoda@ap.t.u-tokyo.ac.jp

佐々木孝彦(東北大金研) takahiko@imr.tohoku.ac.jp